

淀を河津桜で彩ろう

伏見の市民団体

大淀中生と7本植樹

京都市伏見区淀地域を早咲きの河津桜で彩る活動が続ける市民団体「淀さくらを育てる会」が、地域にある大淀中の生徒と力を合わせ、学校の敷地内に新たに7本を植樹した。会は2006年に結成され、淀地域に300本以上の河津桜を植え付けている。同中は本年度、1年生が総合学習の時間で河津桜

について調べ、事務局の川崎莞爾さん(79)らに話を聞いた縁もあり、生徒に地域への愛着や誇りを持ってもらおうと協力した。

5日の植樹には、メンバー15人と1、3年生23人が参加。生徒たちは苗木の角度や支柱の立て方を聞き、メンバーとともに苗木に土をかぶせたり、根元に水をやりたりする作業に汗を流した。

1年の小森望矢さん(13)は「自分たちの手で植えた木が、地域で育っていくのはうれしい」と話し、川崎さんは「生徒が地域を愛し、ボランティア精神を持つようになってくれれば」と願っていた。

(中西英明)



「淀さくらを育てる会」と大淀中の生徒が力を合わせた河津桜の植樹

(京都市伏見区・同中)